

ビキニ被災支援

室戸の会

ニュース

2020年7月3日 No.33

発行 ビキニ被災を支援する室戸の会 太平洋核被災支援センター

連絡先 事務局 宿毛市 088-066-1763(山下) 室戸の会 0887-35-8725(濱田)



「クリスマス島の実験(1962年)の時には警報が出されていた」 吉岡加寿彦さん(第5盛幸丸)

2020年1月17日に吉岡さんを訪ねました(濱田、前田、小山)。吉岡さんは、中学校を卒業後、無線士の資格を取り、無線士として長く遠洋漁業にたずさわってこられています。

「第5盛幸丸」は43t。昭和28年11月5日に遠洋漁船としての許可期間が始まっています。ビキニ事件のあった年(1954年・昭和29年)は、主に操業地はフィリピンの東海域だったようです。厚生省の記録によりますと、次のような入港の記録があります。

- 10月08日 午後9時 大阪港入港 操業位置—北緯8度~10度 東経131度 魚を廃棄
- 11月30日 午後5時 大阪港入港 操業位置—北緯8度 東経131度30分 魚廃棄

◆聞き取り内容

①乗り始めた時の様子を聞かせてください。

- ・岬の中学校を出て、室戸岬水産高校に進むつもりをしていたが、おじから「これからは無線士がえいと思う」という話を聞いた。
- ・同級生4人くらいで三浦の三崎に講習を受けに行った。
- ・叔父というのは、中谷清明と言って、当時の船員同志会(船員組合)の会長をしていた。
- ・1953年2月28日、16歳で船に乗り始めた。最初の船は「第5明賀丸」だった。その船に通信士見習いということで乗った。その時の局長(無線長)が久礼の人だった。
- ・その年の10月1日から第5盛幸丸に無線士として

乗ることになった。当時の盛幸丸の会計をしていた人が山下四郎という人だった。

②通信使の仕事はどのような

- ・無線局との交信、他の船との連絡、気象のチェックなどをしていた。もちろんモールス信号で、最初はいちいち文字に直していたが、慣れると大体で取れた。
- ・無線室にいたことが多かったが、あげ縄の時には手伝った。
- ・苦労したことは、船酔いがきつかったことやね。

③船の生活など

- ・第5盛幸丸は、マグロ専用の船だった。
- ・食事は昼は刺身。

・夏の時期に2か月くらい「あがり」と言って船の点検・補修の時期があった。その時は、陸でくつろげる。

④1954年当時、大阪で2回、10月と11月に魚を廃棄したという記録があるが。

・大阪のことはあまり記憶にないが、神戸にも入っていた。

・築地では放射能検知器でがーがーやられて、野島沖の方まで捨てに行っただけ。

・当時は、漁場に行くたびに満船になっていた。大体30tくらい。※一匹100kgとして300匹になる。

・放射能のこともわからなかったけど、次に行ってもまた捨てることになるかもしれないという思いはあった。しかし、収入はないし、船主が行くといえは行くしかないのだから、続けていったのだろう。

・魚は、全部捨てたと思う。船員は保障などもらっていないと思う。

・一緒に乗っていた人たちもみんなは早く死んでいくので「原爆の影響じゃないか」と話していた。

○1962年にクリスマス島での実験がありましたが、そのことは知らされていなかったか。

・その時は、保安庁から無線で警報が来ていたと思う。

・ビキニの時には何もなかった。

○谷祐利さんのこと

・谷さんは親戚になる。谷さんの最後の航海の時に一緒に乗っていた。

・谷さんは有名な船頭。当時はみんなピリピリしていた。

○「遠洋」について

・懐かしいな。みんな結構書いて投稿していた。自分はやっていないけど。

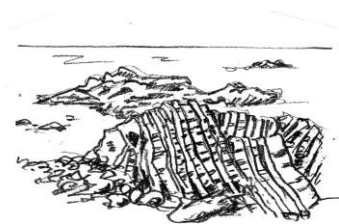
・端に穴をあけて綴じておいたと思うけど、どこに行っただろうか。

○新南丸に乗っていた札さんという方が、「原爆の実験があったようなので、船をきれいに洗って灰を落として帰ってくるように」という無線が入っていたという話を聞いたけど、そういうことはなかったですか。

・札さんは知っている。同じ無線士の仲間。

・そういう指示の無線は入ってこなかった。最も、入港するときは、どの船も綺麗に洗って入港していた。

○ありがとうございました。



かつては室戸にも保健所があった

新型コロナウイルスによる感染が世界中に広がっています。このコロナはいろんなことを考えさせてくれます。よく「医療崩壊」ということが言われますが、高知県など過疎が深刻な地では、コロナ感染が広がる前から慢性的な医療機関不足が起こっています。特に室戸ではひしひしと感じます。医療などは赤字だから置けない、では困るのです。そういえば、かつて室戸には保健所がありました。私も若い

時に一度、健康診断をしに行っていたことがあります。今も坂本にその建物が残っています。

この新型コロナの影響で、マグロ船が港に入ることが出来なくなっているという報道も聞きました。一刻も早い終息を願っています。と同時に、万が一身の回りで発症することがあっても、安心して治療が受けられるような医療体制が整えられることを願っています。(濱田)

「第3回原水爆禁止世界大会」で中谷会長挨拶

ビキニ水爆事件（1954年3月）をきっかけに、日本のみならず世界中に核実験禁止の世論がひろがりました。核兵器廃絶を求める署名運動も行われ翌年（1960年）8月には第1回原水爆禁止世界大会が行われています。

「遠洋」No.34（1957年8.9月合併号）には、第3回の世界大会が8月12日から東京（千駄ヶ谷東京都体育館）で行われ世界22か国から92人、日本全国地区原水協代表5000人、傍聴約3000人が参加したと報じられています。全体会では各国代表の演説に引き続き、室戸岬船員同志会の中谷会長が演壇に立っています。次のように報じられています。

「中谷会長に万雷の拍手」

中谷会長は漁民代表として、またビキニ水爆実験の久保山愛吉氏の代理として、漁場を失った全漁民の立場から次のように全世界に強く訴え、万雷の拍手を浴びた。

「世界の原水爆保有国に対して私は漁民代表として強く怒りを込めて訴えたい。

我々の仲間、太平洋実験のさなかでも生きるために、恐るべき汚染の海に入って操業してきました。また、今度の英国クリスマス島における実験にも私たち漁民は最後まで強く反対を叫んだ。しかし英国は私たちの輿望を無視して実験を強行した。私たちは今まで何度も反対運動を行った。しかし、依然として今後も実験が続けられようとしている。

今後もし、実験が行われるようであれば、私たち漁民は直接行動をもってこれらに対決しなければならないと思っている。私は、近所のおばあさんから『はなやかな宣言や決議よりも、今すぐ実験をやめさせる方法を決めてきてください』といわれてきた。

私は世界の強い反対運動を期待して今後も原水爆実験反対運動を推し進めていきたい。」と訴えた。

中谷会長に続いて、久保山愛吉さんの妻であるすずさんも登壇し訴えられています。「遠洋」の記事を紹介します。

「今年こそ禁止の実現を 夫の霊に大会の成功を伝える」

ビキニ水爆実験の犠牲者として夫を失ったすずさんは、次女の安子さん(10)三女のさよ子ちゃん(8)に囲まれながら「今年こそ禁止の実現を」とのべ「ちょうど、この大会は焼津のお盆と重なるのです。9月23日には夫の3年忌を迎えますが、お盆には、霊前でこの大会の成功を伝え、9月の命日には禁止実現を知らせたいのが私の思いです。原水爆の被害がますます恐ろしくなっているとき、今更のように死に直面した夫の苦しみが思い出されてなりません。私は原水爆の禁止を、直接被害の一人として強く訴えます。」とのべ、涙をさそった。

自転車で四国大会（高松）

ちなみに、この年の原水爆禁止四国大会（1957.8.10）には、高知から16名が参加しています。自転車で行ったというから驚きます。室戸からは由本六一さん岡崎希成さんの2名が参加しています。



室戸岬水産高校校舎

ついに解体

遂にこの日が、という感じだ。たまたま通りかかり、思わず あーっとさげび、ブレーキを踏んだ。室戸の遠洋漁業を支えた室戸岬水産高校が、遂に、です。今日は、元船員さんを訪ね、かつて実習船として遣わしてもらっていたという、大黒丸のイカりの話をきいたところだった。そのイカりは水産高校の玄関のエントランスにあった。それが鯨館に移され、現在は廃校水族館の庭に展示されている。どういう経緯でそうなったのかは分からないが、校舎解体-廃棄の難を逃れている。

第5大黒丸。1954年5月18日に3人の実習生を乗せ室戸岬を出港し、八丈島東方で、ピキニからの放射能を大量に含んだ雨にたたられながら10日間の操業実習が行われていた。そして、一人の高校生が体調を崩して亡くなった。

「水高の跡」という碑は、残してもらいたいと切に思う。書痕は、この学校で教鞭をとられた今井直重さんによるもの。今井さんは、船員同志会で副会長もされていた。解体作業をしばらく眺めていると、工事関係者の方が、何人もがじっと眺めていましたよ、とはなしてくれた。

◇沿革史

- 1906(M39) 津呂尋常小学校に水産科を設置
- 1922(T11) 上記水産科が独立津呂水産補修学校
- 1942(S17) 県立水産学校開設
- 1947(S23) 県立水産学校を
県立室戸岬水産高等学校と改称
- 1963(S38) 高浜地区に校舎建設
- 1997(H09) 廃校となる
- 1999(H11) 室戸岬中学校校舎として再利用
- 2010(H22) 室戸岬中学校廃校
以後閉鎖されていた
- 2020(R02) 校舎解体 残念ですが



ピキニ労災裁判第1回公判(口頭弁論)

- ・7月31日 高知地方裁判所 205 法定
- ・10時より
- ※コロナの関係で傍聴席に限りがあるようです。

ピキニ被災支援室戸の会 調査活動 参加者募集しています

- 7月18日(土) 10時~12時 13時~15時
- ※室戸岬公民館 駐車場集合

